

学校番号	24	学校名	静岡県立吉原工業高等学校	校長名	渡森 和彦
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 スクールミッション

製紙産業・輸送機器関連産業・化学産業等、多様な産業が集積する工業都市の中にある、地元に根付いた工業高校として、技術革新を見据えた最先端の工業教育と、ものづくり教育を通して、Society5.0を迎える世界に対応した、確かな知識と技術を身に付け、地域の発展に寄与できる人材の育成を目指す。

2 スクールポリシー

グラデュエーションポリシー	カリキュラムポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～</p> <p>われらの信条「努力ー求めて学び、耐えて鍛えよー」のもと、「一生モノの自分づくり」を掲げ、ものづくり教育に加え、キャリア教育や道徳的教育を充実させることで社会人基礎力を醸成し、Society5.0 に代表される変化の激しい社会に対応できる人材を育成する。</p> <p>＜育成を目指す資質・能力＞ ～ 吉工G P 7の達成 ～</p> <p>(1)協働力、(2)受信力・発信力 (3)行動力、(4)自己管理能力 (5)技術力、(6)職業人倫理観 (7)進路学力</p> <p>※ 詳細は「吉工ブランドデザイン」等の別紙参照</p>	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <p>(1)キャリア教育や道徳的教育を充実させ、主体的な学びおよび対話的な学びへ向けた力を高める。 (2)ICT の有効活用や対話的指導を充実させ、個別最適な学びを実現し個々の学びを深める。 (3)少人数教育や実習を通して、専門的な技術・技能・知識の定着と、これらを活用したものづくり実践から課題解決能力を高める。 (4)学校行事や部活動等を通じた人格形成や、実習等における協働意識を高める。 (5)多様な進路選択に向けて、業務に活用できる資格取得の機会を提供する。</p>	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <p>(1)ものづくりに興味があり、工業各分野の専門的な教育に積極的に取り組める生徒。 (2)何事にも努力を惜しまない向上心があり、様々なことに挑戦し続ける意思がある生徒。 (3)自分のことだけでなく、他者を助け、協調することができる生徒。 (4)ルールを守り社会人として必要なマナーを身に付けようと努める生徒。 (5)吉工での教育を通して「ものづくりマインド※①」を身に付け、「キャリアアンカー※②」を芽生えさせることで、多様な職業に対応可能な社会人基礎力を育成する意志がある生徒。</p>

※①ものづくりマインド：SMS教育の実践により身に付ける「ものづくりマインド」は、工業以外の様々な職業でも活かせる。※吉工定義

- ・センス (S)：多感で柔軟性のある高校時代に工業教育で体験的に学んだことは体に染みつく。染みついたことは、実際にそれが求められる場面になると、直感で理解し行動できるというセンスとなる。このセンスは工業分野以外の多様な職業でも活かせる。
- ・マナー (M)：5 S (「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」)の徹底、技術者倫理 (法令や企画書を遵守したものづくり)、道具や材料の特性に配慮する気配り等、技術・技能者として身に付けたマナーは、社会全般に通用するマナーでもある。
- ・スピリット (S)：ものづくりや研究を通してチャレンジ精神や努力する心を身に付ける。そのスピリットは人生の様々な場面で活かせる。

※②キャリアアンカー：その人の職業人生における根っこのような核となるもの。※吉工定義

- ・困難な事態に直面したときに、「自分にはこれがあるから大丈夫」と思えるものを「キャリアアンカー」として芽生えさせる。

3 スクールポリシー具現化の柱

ア 安心安全な環境づくりへ向け生徒の主体的な「生活安全」「交通安全」「災害安全 (防災)」への取組を充実させ、生徒の心身の健康維持を支援することで、生涯に渡る安全・健康意識の形成を図る。

イ 価値観の多様化等の社会変化へ対応しながら、自立や社会参画へ向け、生徒一人ひとりの教育的ニーズを早期に把握し、これに対応する適切な指導および必要な支援を行うことで、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服させる。

ウ キャリア教育や道徳的教育を充実させ、主体的な学びおよび対話的な学びへ向けた力を高める。

エ ICT の有効活用や対話的指導を充実させ、個別最適な学びを実現し個々の学びを深める。

オ 少人数教育や実習を通して、専門的な技術・技能・知識の定着と、これらを活用したものづくり実践から課題解決能力を高め、業務に活用できる資格取得の機会を提供する。

カ 部活動や特別活動等を通じた人格形成を図る。

キ 地域から期待・信頼される工業高校として、更なる教育改善を図りながら情報公開を充実させる。

ク 円滑かつ適正な事務執行に取り組み、信頼される学校事務を推進する。

ケ 校務の整理・削減等を図り、教職員自らが安心・安全に職務を遂行できるよう業務改善に努める。

様式第1号

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
ア	安全教育の推進と危機管理能力の向上	交通マナーおよび危険予知の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「登下校時、交通法規を遵守している」と答える生徒100%達成 イエロー切符受領者各学年10人未満 	生徒指導部	
		自転車通学者が主体的に車両整備に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> T Sマークに関する指導を徹底し、整備不良事故0件 	生徒指導部	
		自治体等、地域との連携を深め、地域安全に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災訓練への参加率90%以上。訓練不参加者へ学習機会の提供。 「地震等大規模災害発生時の連絡方法や行動について親と話し合っている」と答える生徒75%以上 	総務部	
	予防的危機管理の実施	実習・実験等による安全管理を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 工場安全パトロールに対応し、実習室の整理整頓を行うとともに、事故0達成。 	工業科	
		生徒の生活面の状況を把握し、早期指導に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間の定期的な実施：各学期1回 生活アンケートの定期的な実施：各学期1回 	学年部	
	健康指導の推進	他団体との連携を推進するとともに、健康に関する知識・能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 朝食摂取率95%以上 朝食欠食者へのセミナーの充実 歯磨き習慣に関する実態把握と率向上 健康診断結果による再検査受診率の向上 	保健部	
		自己健康管理を意識させる新体力テストで男女ともに表彰を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 「1年間で体力が向上した」と答える生徒90%以上 	保健体育科	
	イ	自立や社会参画へ向け、生徒一人ひとりの教育的ニーズの把握と適切な指導および必要な支援の実践	不登校や学校不適応を早期把握し、支援・指導を充実させることで、生徒を救い育て卒業へ導く。	<ul style="list-style-type: none"> 適切なタイミングでの保護者連携方法の運用と確立 ケース会議の随時開催 必要に応じた個別の指導計画の作成と活用 教職員間の情報共有強化と校内研修の開催1回以上 命を守る教育への具体的な取組の検討・実施 	保健部 学年部
			新生徒指導提要および新学習指導要領に則り、積極的に外部機関を活用することで指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所やNPO法人、および警察・市役所等の外部機関との連携を更に強化する。 	保健部 生徒指導部 学年部
		「成年年齢・選挙権年齢の引き下げ」および「こども基本法」の成立等の社会変化に対応した指導の実践	教科指導と特別活動の往還により、成年年齢・選挙権年齢の引き下げに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 消費者講座、労務講座等と連動した教科指導の実践 地域選挙管理委員会と連携した生徒会選挙の実施 	関係教科 生徒指導部

様式第1号

		<p>新生徒指導提要で重視されている、発達支持的生徒指導を推進することで、生徒の自己決定権を尊重しながら自己指導能力を伸張し、主体的・持続的で正しい行動習慣を涵養する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・TPOに合わせた、主体的な行動・選択習慣を身に付けさせるため「校則の見直し」へ生徒会の意見を反映させる。 ・多様な生徒への対応と、主体的な選択を考慮した制服の検討。 	生徒指導部
ウ	キャリア教育の推進による能力・適性・希望に応じたきめ細やかな進路指導	<p>進路意識の早期定着と向上を目指し、具体的な進路指導体制を充実させることで、進路実現を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の系統的な進路指導体制を構築するため、進路教材を整備し、具体的な活用計画を定める。 ・「進路について親と話をする」と答える生徒90%以上 	進路指導部 学年部
		<p>効率的な進路情報提供体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者全員の求人票閲覧システムへの移行。一覧表配布廃止への検討。 	進路指導部
		<p>進路学力として、基礎基本の習得に加え、生徒個々で異なる進路目標を達成するための支援を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進学模試や小論文模試などの有効活用を通じた偏差値の向上。 ・大学進学希望者に関する個別検討会の定期開催（大学入学共通テスト受験対象者の検討を含む）。 ・学びの基礎診断の有効活用と、前回比較でGTZ向上者20%達成およびD3取得生徒への支援 	進路指導部 教務部 学年部
		<p>インターンシップ、ワークラリー、海外インターンシップ等、地元企業との連携を密にし、キャリア教育の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップ等をおして、進路意識が向上した」と答える生徒95%以上 ・「インターンシップ等をおした企業研究により郷土理解が深まった」と答える生徒80%以上 	学年部
	基本的な生活習慣の確立と職業人倫理観の向上	<p>アフターコロナを意識した出席率の向上。時間厳守と挨拶の励行。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の登校指導の実施。 ・遅刻を各学年1日あたり1人未満に抑える。 	生徒指導部 教務部
		<p>新学習指導要領の重要要素である「教科横断的視点の導入」および「教科指導と特別活動指導の往還」を意識し、「教科等横断MAP：SNSの正しい利用」を整備・活用することで、規範意識・人権感覚を全校・通年の体制で醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「校則(ソーシャルメディアポリシーを含む)や社会のルールを守ろうとしている」と答える生徒100%の達成 	図書部 (情報) 生徒指導部 教務部
		<p>生徒手帳への記入習慣化等を通して、自己管理能力の伸張を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やるべきときに、やるべきことがやれた」と答える生徒95%以上 	学年部

様式第1号

エ	学習指導の充実	公開授業を充実させることで授業改善に繋げる。他教科との授業交流を行い、授業改善（教材研究）に積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業を外部へも公開 ・公開授業週間における教員相互の授業参観率95%以上 ・自主的な研究授業実施者15人以上 	教務部
		新学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業改善・学習評価改善への取組を一層進め、生徒が主体的に取り組める授業づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「興味を持って主体的に取り組める授業がある」と答える生徒100%達成 ・「授業が分かりやすい」と答える生徒80%以上 	教務部
		新学習指導要領に則った、生徒の1人1台端末の活用推進。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修の実施 ・アクセスポイントの増設などネットワーク環境の整備（予算措置の検討を含む） 	図書部（情報）
	「役立ち感育成プロジェクト」の推進	地域との交流を積極的に行うことにより、コミュニケーション能力と自己有用感を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「この1年間で、他団体との交流やボランティア活動に参加したことがある」と答える生徒65%以上 	未来戦略委員会
オ	Society5.0 を生き抜く人材育成へ向けた産業教育の推進	新学科対応へ向けた実験・実習の工夫・改善を行い、生徒の学習成果の発表機会を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関心があると答える生徒90%以上 ・イベントや出前講座等による学習成果の発表を年間3回以上（各工業学科ごと） 	工業科
	高大連携や企業等による外部指導者の充実および専門的スキルの向上と視覚化	外部指導者を積極的に活用することで、工業教育を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者の活用を年間3回以上（各工業学科ごと） 	工業科
		生徒の技術・技能向上に取り組む、資格検定取得者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「資格取得に向け、積極的に取り組んでいる」と答える生徒80%以上 	工業科
工業高校で学んだ知識技能を外部大会で発揮する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会等へ積極的に参加し、3種目以上で上位入賞する。 	工業科		
カ	ホームルーム活動および生徒会活動の自主的な運営	行事等を成功させ、自己有用感を育む。各専門委員会の活動を活性化させ、主体性および協調性を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統行事である吉峰祭に積極的に参加し、係の仕事を行った」と答える生徒100%達成 	生徒指導部
	部活動の活性化	部活動の活動計画に沿って、効率的効果的に活動し、参加し易い環境を整える。生徒による応援活動により愛校心を育て、選手の自己有用感の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動に無断で休まず取り組んでいる」と答える生徒85%以上 ・部活動壮行会の定期的な開催 	生徒指導部
	読書活動を通じた知性・創造力の育成	本に親しむ習慣を身に付けさせるとともに図書館活用の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だよりの定期的な発行と貸出数の増加 ・「朝読書の時間は有意義だ」と答える生徒80%以上 ・「図書館やPTAコーナーにある本を今年度読んだ」と答える生徒70%以上 	図書部

様式第1号

キ	学校公開・情報発信の充実	地域や保護者が学校を見学する機会を充実させる。	・新たに公開する学校行事を2つ以上設ける。	教務部 生徒指導部
		工業高校の魅力を見直し、積極的に広報する。	・新しい学校広報のあり方を1つ以上検討し、実現を目指す。	未来戦略委員会
		公式ホームページや公式SNSを活用した学校広報活動を推進する。	・公式ホームページ閲覧回数月平均4500以上 ・公式SNSフォロワー800以上	図書部 (情報)
ク	自律的で信頼される学校事務の推進	法令を遵守し、正確で迅速な会計事務処理を行う。	・監査での文書指摘事項をゼロにする。	事務部
		教職員と連携した施設設備の安全点検を実施し、計画的に改善への取組を行い、安心安全な教育環境の整備を行う。	・「施設や設備は安全が保たれている」と答える生徒、保護者ともに90%以上	事務部
ケ	働き方改革に向けた業務改善	定時退勤に向けた目標を立て、取り組む。	・「定時退勤週間に定時退勤できた」と答える教職員が95%以上	管理職
		部活動の活動計画に基づいた実施に努めるように働きかける。	・「部活動の活動計画に基づき活動できた」と答える教職員が90%以上	管理職